

「5大陸のがん罹患 第12版」の公表

国際的な基準での集計結果によるがん罹患統計データブックの集計結果の公表

令和5年10月23日

宮城県立がんセンター

宮城県がん登録室

研究所がん疫学・予防研究部

宮城県がん登録室では、宮城県がん登録管理事業に基づき、宮城県のがん登録情報をとりまとめ、集計及び結果の公表を行っています。このたび、研究所がん疫学・予防研究部の協力を得て、世界のがん罹患集計データブック「5大陸のがん罹患」の編集作業に参画し、その集計結果が公表されましたので、お知らせいたします。

○ 「5大陸のがん罹患」について

5大陸のがん罹患は、国際がん研究機関(International Agency for Research on Cancer: IARC)と国際がん登録協議会(International Association of Cancer Registries: IACR)が共同で編集・刊行している国際的ながん罹患統計データブックで、正式な名称を Cancer Incidence in Five Continents といい、略称を CI5(シーアイ・ファイブ)といいます。今回は第12版なので、ローマ数字を使い、CI5-XII と表記されます。世界の地域単位、または、国単位で実施されているがん登録の罹患データを収集し、編集委員会がデータを精査し、基準を満たしたデータのみが採用され、その結果が公表されます。第1版は、1966年に刊行されました。第1版から第12版まで連続して参加しているがん登録は、世界でわずかに13登録だけです。日本では、宮城県が唯一、参加を続けています。

○ 「5大陸のがん罹患」にデータが採用・公表されることの意義

公表されたがん登録のデータは、国際的な基準を満たした精度の高いデータであり、比較可能性が担保されているデータということになります。そのため、データが採用され、公表されることは、そのがん登録のデータの精度の高さを証明することになります。このような精度の高いデータを有する宮城県のがん登録のデータは、宮城県のがん対策や宮城県を対象としたがん研究を進める上で活用されています。改めて、関係者の皆さまのご協力に対して、感謝申し上げますとともに、今後も高い精度でデータを収集して参りたいと考えております。

○ 今回の集計結果

今回、世界70か国から455のがん登録のデータが採用されました。日本からは、宮城県の他、愛知県、秋田県、青森県、群馬県、広島県及び大阪府の7府県のデータ並びに全国集計

値のデータ(国立がん研究センターから提供)が採用されました。集計結果については、IARCのwebサイトで公表されています。

- CI5: CANCER INCIDENCE IN FIVE CONTINENTS

<https://ci5.iarc.fr/>

このwebサイトでは、各がん登録の集計結果を表示させることができ、また、集計結果をダウンロードすることが可能です。

なお、今回公表されたデータの一部を使い、宮城県のがん罹患の動向について、簡単にまとめましたので、ご参照いただければ幸いです。

- 宮城県のがん罹患の動向

https://www.miyagi-pho.jp/mcc/media/ci5_miyagi_intro.pdf (1.81MB)

○ 今後の刊行とデータの活用

今後、表紙や集計方法などについて記載したページが加えられ、PDF版で刊行される予定です。また、データを活用し、がんの部位などに着目した国際比較が行われ、順次、論文として公表される見込みです。